

大坪輝夫

農林技術センター井川演習林の管理運営において、教育及び調査研究の場として円滑に機能するように、①森林整備の基本方針である「井川演習林経営案（平成5年度～平成14年度）」の印刷、②見本林・試験林造成としての新植作業（0.40ha）、既成人工林の下刈や除伐を主体とする保育作業（112.11ha）、林道整備（1,830m）等の森林造成・整備事業、③森林施業・研究等の基礎資料収集のための人工林・天然林の立木調査（104.33ha）ならびに山岳気象の観測、等の事業を遂行した。

演習林をフィールドとして実施される実習教育面では、農林学類・生物資源学類の農林学専攻実習（森林植物学）・森林環境工学実習・森林計測学実習、自然科学類の地球科学実験Ⅱ、農学研究科の森林保護論演習、教育研究科の地学教育野外実験Ⅱ・地理学野外実験等の実験実習の受け入れと履修学生への指導或いは指導補助を行った。その他に生物資源学類の卒業研究2件の調査指導も行った。

黒石 巖

1. 関東甲信越大学農場協議会第22回技術研修会を実施した。 1995.7.22～23
研修内容 講義「鉄の話」鉄鋼とは、鉄鋼の種類、炭素鋼と合金鋼、JISの鉄鋼、鋼の熱処理、「鋼の切断と接合」
実技「エアープラズマ切断」「アーク溶接」「酸素アセチレン溶接」「イナータガス（アルゴン）溶接」による突き合わせ溶接とすみ肉溶接
2. 機械部門主任教官として、同分野のOA化を進めた。
3. 教育用・業務用農業機械の充実を計った。（4輪乗用大型トラクター・乗用田植え機を導入し、機械実習時のトラクター不足の緩和を図った。）
4. 農業機械教育用資料として、乗用トラクター本体のエンジン（4サイクルディーゼルエンジン）・クラッチ・トランスミッション・デフレンシャル・最終減速装置に至る実機の可動カットモデルを作製し、個々の装置の働きとエンジンの動力が駆動輪に至る過程を実物で解説できるようにした。
5. 金属加工室設備の充実を計った。（シャーリングマシン・イナータガス溶接機・油圧プレス盤を導入し、従来対応出来なかった実験装置・試作機の製作を可能にした）
6. 木材加工室の充実を計った。（木工用ルーター盤（小型）導入）
7. 社会教育・学校教育用として、平安時代から江戸時代に至る水稻収穫機発展過程の資料（絵画）を模写し、農林技術センター資料館に展示した。

瀧川具弘

トラクタの使用履歴データベースの開発　トラクタの耐久性研究のための基礎資料を得るため、トラクタ騒音の簡易な測定手法の検討を行った。